

### 保険部



部長

山口 雅彦

令和2年の新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。昨年は、本会柔道整復療養費取扱いにご理解ご協力を賜りまして感謝いたしております。

#### 療養費取扱い研修会の開催

今年度の療養費取扱い研修会は2月16日(日)です。午前の部と午後の部の2回に分けて行います。午前も午後も内容は同じですのご都合の良い方にご出席ください。駐車場がないため、昨年同様に時間的余裕がある休日に一度に開催する運びとなりました。一部は午前9時30分から午前11時。二部は午前11時30分から午後1時00分。

#### 保険部だより

月末の保険部だよりでお知らせしていますが、申請書枚数と集計表が一致していない。また、伝送データの不一致がありますので提出時には再確認をお願いします。

#### 保険証の確認

保険証の確認を怠ることによる誤記や記載漏れなどの事務返戻が多いので、患者情報を正確に入力・転記してください。また「旧証である返戻」も多いので、必ず毎月保険証を確認してください。

#### 施術部位に対する疑義返戻

「患者照会の結果、2部位目の施術が確認できませんでした」という疑義返戻が極めて多いです。腰部捻挫に対して背部挫傷(上部)や、肩関節捻挫に対して上腕部挫傷(下部)のように、捻挫に対する近位の挫傷などの疑義が特に多い傾向にあるので、患者さんに負傷部位と施術部位をきちんと説明して施術にあたってください。またこのような返戻を回避するために施術指針表を活用してください。

#### 返戻・不支給状況

近年医療保険者において、患者さんが同じ負

傷(部位)について保険医療機関で治療を受けている場合の柔道整復療養費の返戻、不支給処分が増加しています。患者さんは湿布・投薬の処方はされているものの患部(負傷部位)の安全と安心が満たされず、地域に密接した歴史と伝統ある柔道整復術を頼り求め来所に至っている現状を、関係機関にご理解いただけるよう更なる努力をいたします。本年もご指導ご協力をお願いします。

### 学術部



部長

笥 芳幸

年頭に当たり、気持ちも新たにしておみえの事と拝察いたします。平素は学術部・学術委員会に格別のご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

昨年より検討して参りました第19巻愛知県柔道整復学会誌投稿原稿について現在4原稿の査読をしていただいています。3月末の発刊に向け、編集をしているところです。

令和2年度の学術部の主な事業として第55回愛知県柔道整復学会、第94回会員研修会を愛整会館3階講堂にて開催の予定です。各支部では学会発表に向けて抄録の作成、発表に向けてのプレゼンなど、担当される発表者、学術担当者の先生方にはお忙しい中、よろしくお祈り致します。

現在、私を含め学術部3名、学術委員1名で部会・委員会の運営を行っています。学術委員に欠員がありまして引きつづき1~2名の募集をしています。少しでも学術に興味をお持ちでしたら、自薦、他薦を問わず募集していますので、ご応募の程よろしくお祈り申し上げます。

## 柔道部



部長

春日井 和幸

日頃は、柔道部の活動・柔道救護にご協力いただき有難うございます。

4月14日(日)に行われた第28回愛知県柔道整復師会少年少女柔道大会及び、6月16日(日)に行われた第12回愛知県柔道整復専門学校柔道大会、第8回愛知県柔道整復師会少年形競技会、第40回愛知県柔道整復師会柔道大会においても皆様の協力のもと、円滑な進行が出来ましたことを御礼申し上げます。

7月21日(日)に静岡県で行われた第16回柔整師杯東海少年柔道選手権大会は今年度より個人戦を廃止し、日整全国少年柔道大会のメンバーによる5名の団体戦と女子の4年生・5年生・6年生の各優勝者3名の団体戦を行い、愛知県が男女とも優勝しました。第9回東海柔道形競技会は、昨年に続き半田支部の相川・牧園選手が出場し見事に優勝をしました。

10月14日(月・祝)の第28回日整全国少年柔道大会・第9回日整全国少年柔道形競技会・第43回日整全国柔道大会及び全国柔道整復師高段者大会は台風の上陸と重なり10月13日(日)早朝に日整より急遽、13日に行われる日整生涯学習及び14日行われる日整全国大会の中止の連絡がありました。全国大会中止は非常に悔しい思いではありますが、全員の安全を優先しての事と思います。

2020年度も各柔道大会、柔道救護等がございますので、先生方のご協力を宜しくお願い致します。

## 介護部



部長

長瀬 理次

## 令和に入っでの動き

11月17日(日)第54回東海学術大会愛知大会の日、中日新聞朝刊1面に「介護予防の交付金倍増へ」という記事が載っていた。「政府が年末に編成する2020年度の当初予算案で、介護の予防や自立支援に成果を上げた自治体到手厚く配分する交付金を、現在の二倍の四百億円程度へ大幅拡充させることが分かった。認知症予防や要介護度の維持・改善に向けた取り組みを自治体間で競わせ、介護費の膨張を抑える狙いがある。今回の拡充では評価指標も見直し、積極的に取り組む自治体への配分をより手厚くし、消極的な場合は減らす仕組みに改める」とあるので今後柔整師が行う介護予防・日常生活支援総合事業(以下総合事業)等に期待が持てると予想される。名古屋市総合事業も原則、週1回の実施で、24回日の属する月の末日までを利用可能期間(6か月)としている期限を継続利用できる様に変更になる様子である。

7月11日(月)に行った支部介護担当者会議では、総合事業緩和Aで月に30万円以上の売り上げのある会員がいる、との報告もあった。

また令和2年3月8日(日)第32回機能訓練指導員実務研修会(第15回機能訓練指導員フォローアップ講習会)の講師は日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科 浅井 友詞 教授を予定しているので沢山の会員に参加いただければと思う。

## 組織強化委員会



委員長  
早川 岩雄

毎回書かせていただくが、会員減少に歯止めがとまらず今年度は遂に800名を切るようになってしまいました。

会員の高齢化、入会しても2～3年で廃業しなければならない経済的な理由、会員それぞれ理由は違えど柔整業界に逆風が吹いているのは間違いない。そこで、組織強化委員会の委員長として準会員制度の導入を提案したいと思っております。

条件としては、本会の会員(以下、正会員という)の三親等以内の親族で、施術所を開設していない柔道整復師、又は県内に住所を有するか又は勤務する柔道整復師であって、かつ他の業界任意団体に所属していない者を準会員として、本会における会員数を正会員と準会員の合計数にすれば会員数が増え、組織率のアップにつながるのではないかと思っております。

そこで問題は、入会金、月々の会費等が発生するために二の足を踏む方々が多く見られると思います。入会金免除、月々の会費を極力抑え準会員として入会しやすい規約を作る為組織強化委員会で話し合い、理事会に上程していきたいと思っております。

これからの柔整界を背負っていただく若い柔道整復師の方に、新鮮外傷を施術する場を提供したり、個人では対応できない問題を組織だからこそ出来る事を、発信していきたいと思っております。

総会で議案として提示することができる時期が来た時には、会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 災害対策委員会



委員長  
石川 益郎

2019年1月3日(日)、熊本地方で発生した地震に始まり、北海道胆振地方中東部、宮崎日向灘、千葉県南部、山形県沖、福島県沖と去年は多数の地震災害が発生しました。またそれだけでなく8月に九州北部豪雨、記憶には新しい台風15号・19号の大雨による災害と・・・諸外国に比べて自然災害が発生しやすい国土、まさしく「自然災害大国 日本」となっています。

当会对応の防災関連活動としては、9月1日(日)に豊橋総合スポーツ公園 防災啓発会場において「愛知県防災訓練」を、また桜丘中学校にて「東区防災訓練」、川名公園にて「昭和区防災訓練」、最近では10月27日(日)に「武豊町防災訓練」を実施した。また各支部にては「守山区」、「尾張旭市」、「天白区」、「岡崎市」、「知多市」、「半田市」、「東海市」、「大府市」において、多数の支部会員のご協力の下、防災訓練を実施した。当会としては今後も柔道整復術を活かした、災害時等における救護活動に関する事業を継続して行っていきたいと考えています。

会員の皆様には、上記事業を中心に貴重な休みを返上していただき、いつも心より感謝しております。今後もご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

## IT委員会



委員長  
古賀 一

日頃は、本会ホームページをご覧ください厚く御礼申し上げます。会員専用のページへは、愛整ニュースに掲載していますログインID・パスワードを活用してください。

さて、この77刊が会員のお手元につく頃には、パソコンのOSであるWindows7のサポートが1月14日(火)に終了していますので、OSをWindows10に変更されていることと思います。もし、まだという会員はすぐさま変更してください。なぜならマイクロソフト社からWindows7のセキュリティソフトの更新がされないからです。インターネットにつながっているなら外からの攻撃にさらされる可能性が高くなります。

攻撃されるとは、ウイルスを仕掛けられるだけでなく覗かれるということも含まれると思います。本会では、600名以上が療養費申請に関してインターネットを活用されています。ということはそれぞれインターネットにつながっているということです。くれぐれもご油断なきようお願いする次第です。

## 選挙管理委員会



委員長  
山本 カヨ子

令和元年初めの総会におきまして、理事・監事選挙に会員皆様の御協力をいただき選挙管理委員会を代表し感謝申し上げます。

今回新しい試みとして、集計にPCを導入いたしました。前回まで集計時は、選挙管理委員・補助員合わせて20名で投票用紙を裁断し候補者ごとに仕分けし手作業で枚数を数えていました。1枚の用紙を裁断するのですから候補者の承認、非承認にかかわらず候補者全員が同数でなければならないのですが慎重に作業をしても、他候補者の中にあたりペーパーカッターの刃の間に挟まっていたりし、何回もチェックしなおしておりました。そのために用紙を厚くする、裁断回数を減らす、またレイアウト変更等いろいろ工夫を凝らしてまいりましたが多くの問題点を抱えていました。

そこで、副委員長の平岩 一郎会員(大曾根)に用紙を裁断することなくそのままPCへ入力、集計、チェック用紙のプリントアウトまでできるプログラムソフトを作成していただきました。PC使用ができたことで、総会での予定時間が大幅に余ってしまうぐらい開票作業が時間短縮して、スムーズに行うことができました。

理事・監事選挙は会員皆様のこれからを託す大事な選挙です。これからもご理解・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、急逝されました長谷川 貴一 前副会長に感謝申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。